

桃 現 地 講 習 会



もも生産協議会は4月14日、平川市の園地で桃の現地講習会を開きました。生産者約30人が参加し、栽培管理や摘蕾作業を確認しました。

営農指導員が栽培管理について説明し「放射冷却や寒気の入り込みによる低温の影響で、凍霜害が発生する。桃は落花後の方が凍霜害に弱いので、霜注意報を確認し、対策をしてほしい」と呼び掛けました。

せん孔細菌病防除について、中南地域県民局地域農林水産部農業普及振興室の職員が「菌密度低減を図るために、一次伝染源である春型枝病斑の早期切除が重要。定期的に園地を見回り、発生を見つけ次第、適切に処分する」と説明しました。



摘蕾作業の説明をする指導員（中央）

平 賀 東 支 店 竣 工 式



完成した平賀東支店の竣工式を、4月6日に行いました。工藤俊博組合長をはじめ関係者約50人が参列。玉串を奉奠し、施設運営の無事を祈りました。

同支店は平賀地区の支店再編により、令和4年4月に着工。これまで新屋支店、竹館支店、葛川支店で行っていた金融共済業務を継承します。

営業は、5月22日の午前8時30分より開始します。



挨拶をする工藤組合長

ふれあいりんご現地講習会



黒石基幹グリーンセンターは4月10日、黒石の各地区で「ふれあいりんご現地講習会」を開きました。

山形地区の佐藤練蔵さんの園地で行った講習会には、生産者11人が参加しました。営農指導員が講師を務め、生産者は生育状況や今後の栽培管理について確認しました。



生育状況などを説明する指導員